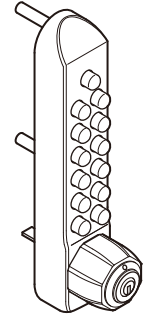

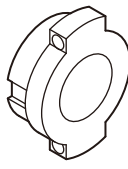

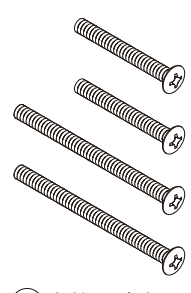

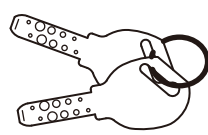


MIWA (AD・AH/LAT・LAL/FGT) シリンダー取替 取付説明書

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。

⚠ AH 錠は、新規 逆さ取り付けに限りです

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

 ① 22276M 本体 1	 ② 樹脂ベース 厚さ 2.0 mm 2 <small>ここを切り 離して使う</small>	 ③ MIWA 対応 アダプター 1	 ④ 室内丸座 2	 ⑤ 本体固定ねじ M5×30 2 M5×50 2	 ⑥ 取説 set 1	 ⑦ キー 2
---	---	--	---	---	--	--

1 取付前の準備

【1】現在取り付けてある錠の確認 『MIWA AD』『MIWA LAT』『MIWA LAL』『MIWA FGT』『MIWA AH』錠であることを確認します。

【2】記憶番号の確認 ① 22276M 本体にセットされている記憶番号を確認します。別紙 取扱説明書をご覧ください。

【3】取付扉厚を測ります。対応扉厚は 30～60 mm です。

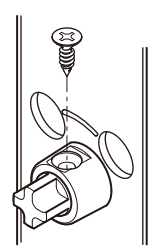
① キーレックス本体は工場出荷時、対応扉厚は 30～40 mm です。

扉厚 30～40 mm：そのまま裏面 ② に進んでください。

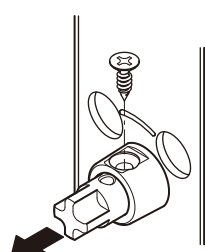
扉厚 40～60 mm：① キーレックス本体裏のテールピースを下図のように調整します
（テールピースの穴位置に注意）。

工場出荷時

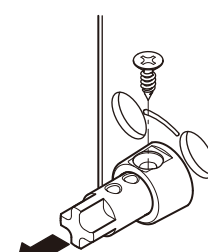
扉厚 30～40 mm



扉厚 40～50 mm



扉厚 50～60 mm



【4】扉の吊元の確認をします。④ で必要です。

左吊元	右吊元

FGT 54mm (フロント板上端からの寸法)

AH 50.5mm (逆さ取り付け)

LAT/LAL 46.5mm

AD 45mm

φ34
AH

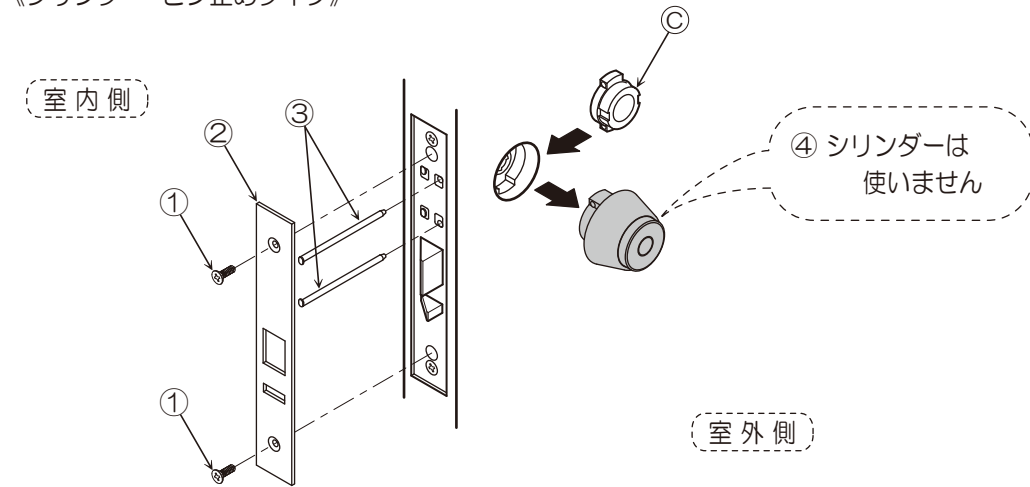
φ38
AD/LAL/LAT/FGT

バックセット寸法

LAL/LAT のみ

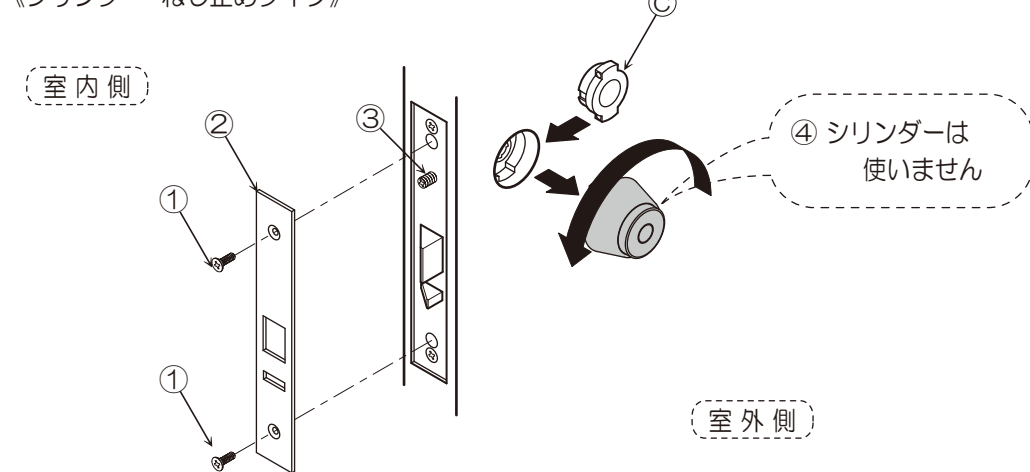
2 既存部品の取り外しとアダプターの取り付け：扉は開けたままの状態、⑤作動確認までをおこないます。

《シリンダー ピン止めタイプ》



- I：①フロント板固定ねじをゆるめ、②フロント板をはずします。
II：③シリンダー止めピン 2 本を抜き取り、④シリンダーをはずします。
（サムターン側はそのままです）
III：⑤アダプターをセットし、③シリンダー止めピンを差しこみ、固定します。
IV：②フロント板をセットし、①フロント板固定ねじで固定します。

《シリンダー ねじ止めタイプ》



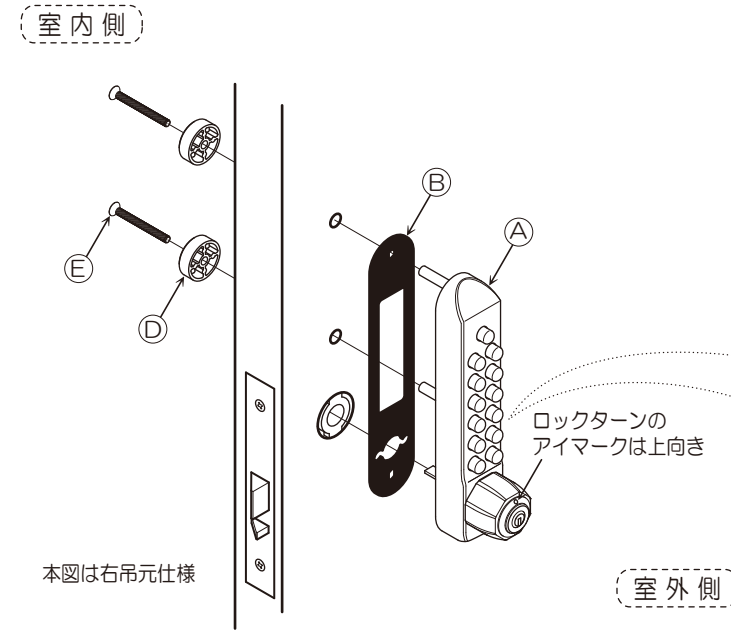
- I：①フロント板固定ねじをゆるめ、②フロント板をはずします。
II：錠中央部の③シリンダー止めねじをゆるめ、④シリンダーを左回転させてはずします。
（サムターン側はそのままです）
III：⑤アダプターをセットし、右回転させて取り付けます。
IV：図の向きになるように⑤アダプターを取り付け、③シリンダー止めねじで固定します。
IV：②フロント板をセットし、①フロント板固定ねじで固定します。

3 扉への追加穴加工

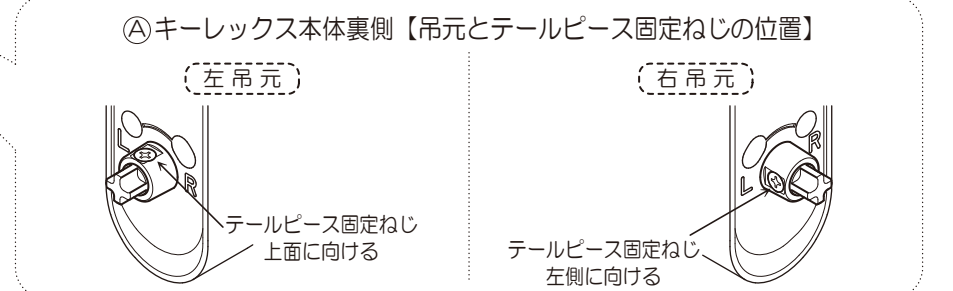
7274814

フロント板上端からの寸法とバックセット寸法を確認し、垂直上部へ 2 ヶ所（裏面切欠き図参照）に、直径 10 mm の貫通穴を開けてください。

4 キーレックス本体 の取り付け



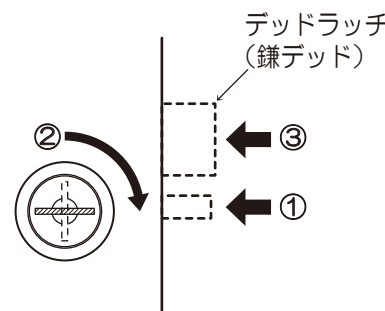
- ※ キーを抜いた状態で取り付けます。
I：室外側に①キーレックス本体（ロックターンのアイマークは上向き、テールピース固定ねじの位置を吊元（裏面参照）とあわせて）、
②樹脂ベースをセットします。
II：室内側から③室内丸座をセットし、④本体固定ねじ 2 本で固定します。
④本体固定ねじは、扉厚にあわせてお使いください。
※ ①キーレックス本体と、扉厚の微調整には、②樹脂ベースで対応してください。



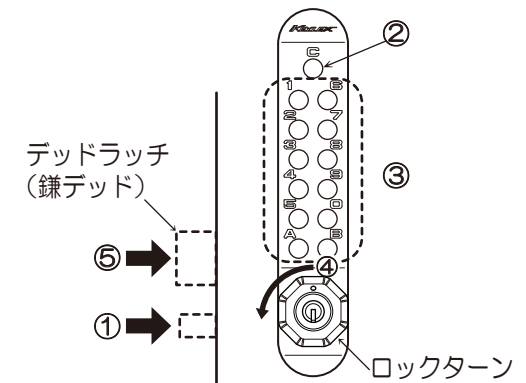
5 作動確認： ロックターンが作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、吊元にあわせたテールピース固定ねじの向きを確認してください。

施錠：①トリガーを押し、②デッドラッチが固定された（鎌錠は鎌デッドが飛び出す）ことを確認します。

- 室内側
解錠：①錠のトリガーを押さえたまま、
②サムターンを回し（ない時にはレバーハンドルを作動させ）
③デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



- 室外側
解錠：①錠のトリガーを押さえたまま、
②C ボタンを押し、③正しい記憶番号を押します。
④ロックターンを回し、
⑤デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



※本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

鍵付タイプですので、ボタン操作を行わずにキー操作で施解錠できます。施錠：①シリンダーにキーを入れて回し、②デッドラッチが固定（鎌デッドが出る）を確認します。
解錠：①シリンダーにキーを入れて回し、②デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。

株式会社 長沢製作所

www.nagasawa-mfg.co.jp



東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092